



ふくしまからはじめよう。

やがて独り立ちする子どもたちに
生き抜く力の育成

第6次福島県総合教育計画

- 基本理念 “ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり
- 基本目標
- 知・徳・体のバランスのとれた社会に貢献する自立した人間の育成
 - 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
 - 豊かな教育環境の形成

福島県総合計画「ふくしま新生プラン」(教育分野)

主要施策「**知・徳・体のバランスのよい育成と生き抜く力をはぐくむ教育を進めよう**」

- 主な取組
- ◎豊かな心の育成
 - ◎健やかな体の育成
 - ◎確かな学力の育成
 - ◎生涯学習教育
 - ◎東日本大震災・原子力災害を踏まえた教育

未来を拓く県北の教育

『確かな学力の向上』

- ◎ 互いに学び合う充実した授業づくり
 - 実態と目標を踏まえた単元構想
 - 本時のねらいを明確にした授業設計
 - 学びがいのある学習課題の設定
 - 考えをもたせる教師の働きかけ
 - 効果的な『学び合い』による『思考の共有と吟味』
 - 評価の工夫とまとめの充実
- ◎ 学びを支える学習基盤づくり
 - 発達段階に応じた「学び方」「学習訓練/習慣」の確立
 - 学びの習慣を育てる「授業」「家庭学習」「朝の学習等」の学習サイクルの確立
 - 読書活動の推進による習慣化
- ◎ 教師の力量を高めるための体制づくり
 - 子どもの学びの姿に即した、実効ある校内研修の活性化
 - 校内外の各種研修会等における研修成果の共通理解・共通実践
 - 教師の授業力を高める継続した授業研究

『豊かな人間性・社会性の育成』

- ◎ 自他のよさがわかる心の基盤づくり
 - 子どもが安心できるための自己存在感や充実感を感じる「居場所づくり」
 - 自己の生き方についての考えを深めさせる心に響く道徳の授業づくり
 - 集団の一員としての自覚を深めさせる特別活動の指導の工夫
- ◎ 自他のよさを認め合う人間関係づくり
 - すべての子どもが活躍し、主体的に取り組む協同的な活動としての「絆づくり」の場の設定
 - 多様な感じ方や考え方によって学び合わせることができる道徳の指導の工夫
 - 大人や異年齢の子どもたちとの交流や体験活動、学校間や異校種間との連携
- ◎ 一人一人のよさを伸ばす機能する指導体制づくり
 - 普段の子どもの姿を見る目と子どもに寄り添う心の意識化
 - 教育相談の充実と心のケアのための支援
 - 問題行動等の早期発見、早期対応、早期解決のための組織的な取組み
 - 問題行動の未然防止に向けた家庭や地域、近隣校、関係機関との連携

『健やかな体の育成』

- ◎ 生涯にわたって健康を支える体力づくり
 - 体力向上推進計画書に基づく体力向上策の具現
 - 新体力テスト等による実態の把握及び具現策の評価
 - 動きの質を高める体育・保健体育の授業への改善
 - 効率よく多様な動きを体験できる運動身体づくりプログラムへの改善(小)
 - 運動の習慣化につながる「体づくり運動」の工夫
 - 実質的な運動の時間の確保
 - 自主的に運動に取り組む場や機会との工夫
 - 体を動かす遊びの推奨
- ◎ 健康で安全な生活の実践をめざす習慣づくり
 - 健康に関する知識を身に付け、自ら実践する力の育成を図る指導の推進
 - 家庭との連携による基本的な生活習慣の確立
 - 身の回りの危険を予測し、回避する能力を育む指導の推進
 - 主体的に判断し、行動する態度を育む防災教育、放射線教育の実践
 - 家庭、地域と一丸となった交通安全指導の徹底

学級・学習集団づくり

関係機関との連携

- ◎ 関係機関の機能を理解した効果的な活用
 - 関係機関の具体的な把握
 - 学校課題の解決につながる関係機関との連携を図る管理職等のコーディネート
- ◎ 各校種の実態、教育内容の理解に基づいた指導方法の改善
 - 連携のための時間、場所等の確保
 - 情報の共有と共通実践

子どもに育みたいこと

- 「聴く」「話す」ことができる学習態度
- 相手を尊重し、自分を律することができる態度

教師(担任)がでこころがほしいこと

- 互いを尊重し合い、認め合う支持的風土の醸成
- 自主性・自立性を育む教育活動の展開

学校に求められること

- 学年・学校全体で教師(担任)を支える体制
- 同僚性、同種性、異種性で共通理解し、共通実践できる体制

- 集団の一員として目標をもって取り組み、困難を乗り越える態度
- 集団として高い理想をもった自主的・自立的な行動

- 一人一人の特性を踏まえ、個を大切にできる学級経営
- 是是非非について要める叱ることのできる姿勢

- 同僚性を発揮し、教師の指導力を向上させる環境
- 学校全体で、子どもと関わる時間を確保できる環境整備

家庭や地域社会との連携

- ◎ 望ましい生活習慣、学習習慣の確立
 - 具体的方策についての共通理解・実践
 - 家庭学習の仕方等についての周知
- ◎ 家庭や地域社会の教育力を生かした教育活動の充実
 - 地域の教育力を活用した教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の実施
 - 家庭、地域との協力による学校安全体制の強化

『特別支援教育の充実』

- ◎ 全教職員の連携協力による校(園)内支援体制づくり
 - 特別支援教育コーディネーターを中心とした研修会やケース会議の実施
- ◎ 集団の中でのよりよい友達関係づくり
 - 教師が仲立ちとなり、よりよい友達との関わりをつくるための支援の工夫
 - 組織的、計画的、継続的な交流及び共同学習の推進
- ◎ 一人一人のニーズに応じた指導体制づくり
 - 子どもの特性の把握に基づく指導のねらいや方針の明確化
 - 「個別の指導計画」や「個別的教育支援計画」の作成・活用
- ◎ 家庭、地域及び関係機関との連携づくり
 - 保健福祉等関係機関との連携や特別支援学校のセンター的機能の活用
 - 研修会等による家庭や地域への特別支援教育に対する継続した啓発

『幼稚園教育の充実』

- ◎ 生活の連続性や学びの連続性を踏まえた指導計画づくり
 - 幼小の教育内容や指導のあり方等についての共通理解
 - 家庭、地域社会、小学校、保育所等と互いに連携・協力を見通した指導計画の作成
- ◎ 主体的な活動が確保できる保育の場づくり
 - 幼児の心の動きを理解し、発達の見通しや活動の予想に基づいた環境の構成
 - 個々の実態に応じた指導の内容や方法の工夫と組織的、計画的な保育の実施
- ◎ 次の支援・保育につながる評価体制づくり
 - 幼児の発達の理解と課題に基づいた計画の見直しや環境の再構成
 - 保育カンファレンスなどをもとにした指導の振り返りによる幼児の見取りと保育への活用